

# 痔

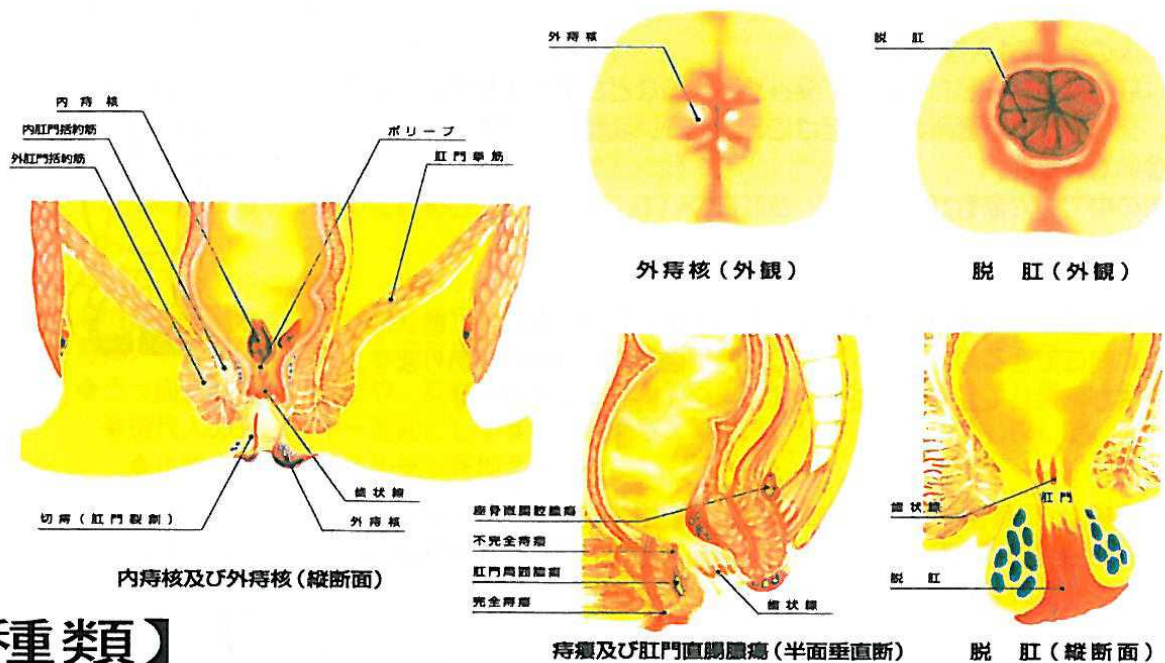
内部から改善・治療していく  
キュートお推め現代漢方の紹介

	漢方内服薬	漢方外用薬
いぼ痔 きれ痔 でお悩みの方に	 <b>ホ/ミもへじ</b> 135p <b>6930円</b> 270p <b>12915円</b>	 <b>ワケラス</b> <b>赤色ワケラス軟膏 15g 1365円</b>
あな痔 でお悩みの方に	 <b>ワケラスD錠</b> 300錠 <b>4200円</b>	 <b>ワケラス</b> <b>黄色ワケラス軟膏 15g 1365円</b>

※症状にあわせて選薬いたしますので御相談下さい。

くすりのキュート 玉名店 0968-73-7335  
植木店 096-273-2640

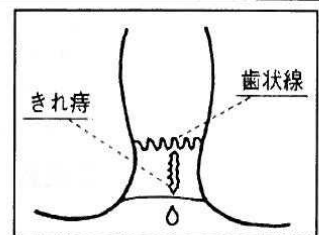
# キュートのおすすめ漢方シリーズ 「痔」



## 【種類】

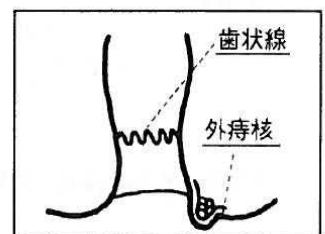
### きれ痔（裂肛） 出血・・・あり、痛み・・・あり

便秘、下痢によって肛門粘膜が切れた状態です。痛みが主な症状で、紙につく程度の出血を起こします。一般的には、便秘がちな女性に多い傾向にあります。



### いぼ痔（外痔核） 出血・・・なし、痛み・・・あり

肛門の出口付近にある粘膜の静脈が便秘、下痢、ひえなどによって内出血を起こして血栓を形成したもので、痛みを伴うことが多い。自覚的に肛門部の腫れ、ふくらみがわかります。（普通は出血しませんが、時に血栓が破れて出血する場合あり）



### はしり痔（内痔核） 出血・・・あり、痛み・・・なし

内痔核には大きく二つのタイプがあります。

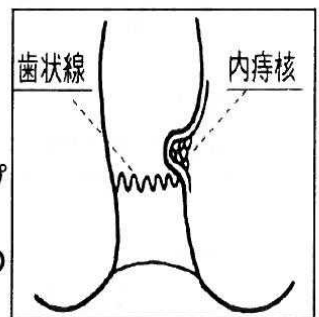
#### ① 静脈瘤が原因のタイプ

長時間の座位、排便時のいきみ、冷えなどによって肛門内の奥にある粘膜の静脈がうっ血していぼのように腫れ上がったタイプ

#### ② 弾力組織の弛みが原因のタイプ

排便時にきばる習慣や便秘、長時間の座位などによって肛門内の平滑筋・血管・支持組織などの弾力組織が弛んで肛門外に出てしまうタイプ。

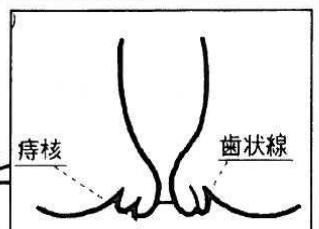
これらの2つのタイプはともに出血が主な症状ですが、痛むことはありません。痔核が脱出すると「で痔（脱肛）」になることもあります。



### で痔（脱肛） 出血・・・なし、痛み・・・なし

内痔核が脱出した状態です。

軽度であれば排便時に痔核が脱出しますが、排便後自然に戻ります（中には、脱出した痔核がしめつけられて戻らなくなると痛みを伴うこともあります）



日本人の3人に1人は痔主...

痔は肛門部粘膜に起こる病気で痛みや不快感などがあり大変つらいものですが、デリケートな箇所の病気だけに、ついつい我慢して悪化させてしまう事も多いものです。

痔疾の中でも対象者が多い痔核、裂肛について、お話ししましょう。



## 痔核とは...

肛門部粘膜にある静脈に生じた瘤です。直腸と肛門の境界部（歯状線）よりも奥にできる内痔核と、手前の肛門側にできる外痔核があります。内痔核が肥大して肛門の外に突出する場合（脱肛）もあります。

## 症状

外痔核：外痔核は皮下に出血して血栓を生じる血栓性外痔核が多く、肛門部に暗紫色の腫瘤を認め、突然の痛みを訴えることがあります。

内痔核：内痔核の症状は出血がもっとも多く、血液が便に付着したり、排便後したたり落ちます。通常は痛みを伴いません。また排便時に内痔核が肛門外へ脱出すること（脱肛）もあります。脱出した痔核が肛門括約筋に締め付けられて戻らなくなり、循環障害によって腫れて、炎症を伴い、痛みを訴える場合もあります。



## 原因

原因としてはうっ血をきたす妊娠、慢性便秘や、飲酒、過度のいきみなどによる腹圧負荷などが原因となります。

## 裂肛とは...

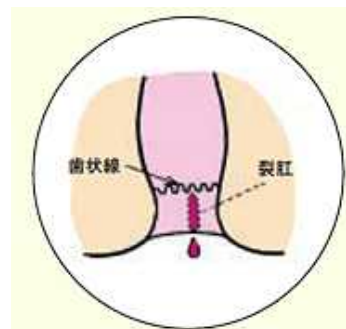
肛門粘膜が過度に伸び広がり裂けたもので、女性に多い病気です。

## 症状

排便時および排便後の痛みで、紙につく程度の出血をみることがあります。

## 原因

排便時の便が硬かったり大きかったり、下痢で勢いよく排便するために、肛門の上皮が傷つくことによって生じます。



## 漢方では

漢方では「乙字湯」という薬方をよく使用します。この乙字湯は、日本の「原南陽」という漢方医が江戸時代、戦場にいる武士のために開発した薬方です。そのため「乙字湯」は江戸時代の武士（男性）を対象にした薬方であり、現代人のような体力のない人や女性の痔を考慮に入れていないのです。



乙字湯を構成する薬物：サイコ、オウゴン、トウキ、カンゾウ、ショウマ、タイオウ

## 痔疾の原因

痔の原因は「肛門部のうっ血」です。肛門部のうっ血には、次の4つの要因があり、これに対する対策が、根本的な痔の治療につながります。

- 血管においてアレルギー反応が起きたとき
- 肝臓に炎症が起きるなどして門脈がうっ血したとき
- 腹部臓器（腸、子宮など）の炎症が起きたとき
- 心臓の働きが鈍ったとき

## ホノミ漢方では

乙字湯の働きを踏まえ、現代人に合うように...

- 胃腸アトニーの多い現代人のためにオウゴンを除き、ダイオウの量を減らしました。
- うっ血を除くボタンピや、女性の痔疾も考慮してコウカ・トウニンを加えました。
- 現代人のアレルギーを起こしやすい体質を考えて、カンゾウの量を増やしました。
- 止血の働きのあるルチンを加えました。

そして、出来上がったのが

“ 飲んで治す ” 痔疾改善薬  
『 ホノミもへじ 』です！



ホノミもへじは、1回3カプセルを1日3回食後にコップ半分以上のぬるま湯で服用するのが基本です。下記のように症状に応じた服用方法も一法です。

軽い症状	急性症状	慢性症状
1回2カプセル 1日3回 食後温服 良いと考える時は規定量で。 1回量を1カプセルに。	1回3カプセル 1日1～3回 食後温服 ときは1回量を2カプセルに。	1回3カプセル 1日3回 食後温服  1回1～2カプセルに。

そして冷水は、胃腸を冷やして機能の低下を招き、薬の吸収を鈍らせます。冷えから肛門部にうっ血を起こして痔になる場合もありますので、冷水ではなく、ぬるま湯での服用が大切です。

痔の改善を早め、痔にならないようにするためにも次の点に気をつけましょう。

野菜をしっかりと取りましょう。

痔の大敵は便秘。気持ちよく排便するためにも野菜などをしっかりと取りましょう。

無理をせず身体を休めましょう。

身体に負担がかかると、血行が悪くなって肛門部の静脈の流れも悪くなります。

ストレスを溜めず、発散させましょう。

ストレスを溜め込むと、身体の機能のバランスが崩れて血行も悪くなります。

身体を冷やさないようにしましょう。

身体を冷やすと、当然血行が悪くなり、肛門部の静脈に悪影響を及ぼします。

お酒を飲みすぎないようにしましょう。

お酒を飲みすぎると肝臓に負担がかかり、門脈という血管の流れが悪くなって肛門部の静脈の流れを悪くしてしまいます。